

## 編集後記

一八五号を、お届けいたします。

今年は「暖かな冬」でした。桜も例年より早く満開となり、本誌が皆様のお手元に届く頃には、若葉が芽吹いていることでしょう。

さて、本号は論説一本と研究ノート二本という構成になりました。このうち、櫻井のものは、忽卒のうちにとまとめたもので、言葉の足りない部分もありますが、御容赦下さい。

また、野田氏の論考は、増田宋太郎による「共愛社」の結社とその消滅を論じられたものです。一方、佐藤氏の論考は、大友氏除国とともに歴史上から姿を消したという豊後高崎氏の動向をトレースされています。

最近、市町村合併が話題にのぼり、新しい「地域」の枠組も生まれようとしています。「地域」とは一体何なのか、行政的枠組はもちろん、さまざまな「地域」の在り方を見つめ直す時代にきていると思います。

最後になりましたが、会員皆様の益々の御発展をお祈りいたします。

(櫻井)

## 大分県地方史 第一八五号

平成十四(二〇〇二)年三月二五日 印刷  
平成十四(二〇〇二)年三月三〇日 発行

編集者 櫻井成昭

発行者 豊田寛三

印刷者 廣永晴巳

大分市大手町二丁目三十四

印刷所 有限会社舞鶴孔版

(五三三二四二三二)

発行所

〒八七〇一一二四

大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育福祉科学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・〇一五八〇一五二九四)